

安全安心ニュース No.35

～ 令和4年中の特殊詐欺情勢（暫定値）について ～

○ 三重県内の特殊詐欺発生状況

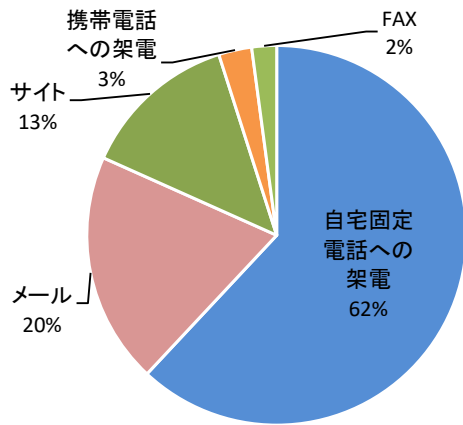
県内における特殊詐欺発生状況は、前年と比べ件数、被害額ともに増加しました。
手口別では、特に架空料金請求詐欺が大きく増加しました。

	発生件数	被害額	前年同期比（増減）	
			発生件数	被害額
オレオレ詐欺	21件	約3,900万円	+11件	+約2,170万円
預貯金詐欺	26件	約3,850万円	+17件	+約2,820万円
架空料金請求詐欺	55件	約2億5,100万円	+25件	+約1億5,540万円
還付金詐欺	25件	約2,140万円	-10件	-約800万円
融資保証金詐欺	5件	約1,030万円	+3件	+約550万円
金融商品詐欺	0件	0円	±0件	±0円
ギャンブル詐欺	0件	0円	-1件	-約220万円
交際あっせん詐欺	1件	約20万円	+1件	+約20万円
その他の特殊詐欺	0件	0円	±0件	±0円
キャッシュカード詐欺盗	9件	約1,600万円	-14件	-約1,720万円
『特殊詐欺』合計	142件	約3億7,630万円	+32件	+約1億8,380万円

○ 被害状況詳細

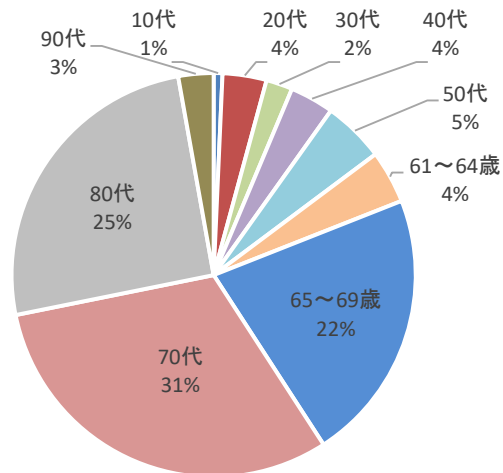
欺罔手段別

自宅固定電話への架電が約6割、メールが約2割でした。



年代別

約8割が65歳以上の高齢者でした。



交付形態別

振込型が最も多く、次いで電子マネー型、キャッシュカード手交型の被害が多く発生しました。

	発生件数	振込型	現金手交型	キャッシュカード手交型	現金送付型	電子マネー型	キャッシュカード窃取型
オレオレ	21		21				
預貯金	26			26			
架空料金請求	55	24	3		2	26	
還付金	25	25					
融資保証金	5	5					
交際あっせん	1					1	
キャッシュカード詐欺盗	9						9
特殊詐欺全体	142	54	24	26	2	27	9